

頑張る

# 農業法人

宇治茶の煎茶主産地の一つ南山城村高尾地区で16年前に立ち上げた農事組合法人「グリーンティー高尾」。全自動の大規模な共同製茶工場の運営と併せ、独自の茶園の栽培管理ルールを徹底して高品質茶生産を実現し、府茶品評会で2011年と12年に農林水産大臣賞を受賞した。

今春には煎茶に加え碾茶(てんちゃ)加工場を稼働させる他、不耕作となりそうな茶園を引き受けることも視野に、宇治茶産地の名声を守る取り組みを展開している。

同村では約300畝の茶園で主に煎茶の生産が盛んだ。同地区の高山ダム南部、奈良県との県境に位置する。

同組合は、1998年4月に茶生産を低コスト化・省力化して、大量生産・均一品質を目指そうと、当時の茶農家16人で立ち上げ、全自動の茶加工場の共同利用を開始した。

現在は、福仲稔さん(56)が代表理事組合長を務め、理事5人、監事2人で運営する。組合員12人とその家族も業務に携わり、組合員が耕作する茶園の他、地区内の茶園約40畝を管理する。

組合員と委託3農家が搬入する生葉を組合が買い取り、まとめて合葉製造するが、持ち込まれた生葉を鑑定機で水分や成分等を測定し、さらに査定員が目視・手触りで鑑定後、10等級に格付けして購入価格を決める。このことは、高品質な生葉

を生産しようとする生産者の意欲と、加工の効率化を高めている。

## 農事組合人 グリーンティー高尾

南山城村

### 高品質茶生産を実現



碾茶加工場建設現場を背景に、茶農家と組合の経営安定を目指す福仲組合長

### 栽培方法の統一化も達成

培方法の統一化を達成した。毎年、生産技術や経営力の向上を目指した勉強会を行い、J A京都やましろが支援している。こうした茶の品質向上のための継続的な取り組みにより、府茶品評会「煎茶の部」で、2年連続で農水大臣賞を受賞。受賞により地域の信頼を得て、組合内の連帯感がより強まっている。

福仲さんは「今春から宇治茶GAP(農業生産工程管理)に対応した新設の碾茶加工場を稼働する。土質が適している上、価格感の良さで経営安定につながり、若い後継者確保につなげていきたい。また、茶農家の後継者不足を補うためにも組合が茶園を引き受けることや、栽培や摘採などの作業受託を行うことも視野に入れて、茶産地を守っていきたい」と話す。

▽法人所在地 相楽郡南山城村高尾堂ノ下2の1。電話 0743(94)0405。

を産出しようとする生産者の意欲と、加工の効率化を高めている。

茶葉の蒸し・揉(も)み・乾燥の工程は全自動化さ

れており、2人1組で交代して稼働させる。製造された荒茶は全てJ A京都やましろへ出荷する。

栽培管理も独自ルールを組合で設定し、肥料の一括購入、農薬の限定使用を徹底する他、秋の茶園巡回指導などにより裁